

経済データ入門

科目ナンバリング ECS-101
選択必修 2単位

石川 義孝

1. 授業の概要(ねらい)

経済のグローバル化の進展にともない、世界中の国や地域の結びつきが強まっています。現代を生きるわれわれにとって、それだけ経済データを正しく読むことを求められていると言えるでしょう。また、日本は経済立国の国ですので、経済データを適切に読み取る力を持つことが、日本を理解することにつながります。経済についての統計データ(経済データ)は、経済分析には欠かせない基礎資料です。授業では、これらのデータの例を多く紹介します。

この授業では、まず、経済データの作られ方や使い方について基本的に解説し、その後、日本における経済データについて紹介し、そのデータが意味する内容を平易に解説します。それによって、受講生のみなさんに、経済現象に対する関心や基礎的な理解力を持っていただくことをめざします。

2. 授業の到達目標

①経済データについての基礎的知識の学習によって、新聞などの報道の経済関連記事が理解できるようになることを目標とします。

②経済データの見方・使い方についての学習を通じて、経済活動の内容を理解する力を身につけます。

3. 成績評価の方法および基準

授業内容の理解を確認するための小テストが50%、期末の試験が50%、の割合で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

鈴木正俊 『経済データの読み方(新版)』

(岩波新書)

参考文献

前田修也 『統計資料がおもしろくなる経済統計入門講座 改訂版』 (ポラノ出版)

5. 準備学修の内容

毎回の授業内容を十分に復習するようにして下さい。

6. その他履修上の注意事項

予備知識は特に必要としませんが、確実に出席するようにして下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の進め方<オンライン授業>
- 【第2回】 GDPと経済成長のデータ
- 【第3回】 県民所得と産業構造のデータ
- 【第4回】 景気のデータ(1):日銀短観、ほか
- 【第5回】 景気のデータ(2):景気動向指数<オンライン授業>
- 【第6回】 景気のデータ(3):法人企業統計、ほか
- 【第7回】 財政・金融のデータ(1):国と地方の予算
- 【第8回】 財政・金融のデータ(2):マネーサプライ、ほか
- 【第9回】 国民生活のデータ(1):個人消費、ほか
- 【第10回】 国民生活のデータ(2):年金、ほか
- 【第11回】 物価のデータ
- 【第12回】 雇用・賃金のデータ
- 【第13回】 国際貿易・通貨のデータ(1):国際収支
- 【第14回】 国際貿易・通貨のデータ(2):円・ドルレート、ほか
- 【第15回】 まとめと試験